- 昔話と聞くと、昔の話で、桃太郎や、いつすん
- ぼうし、など、小さい子が読んでも楽しめる話
- が多いといった感じを受ける。
- きつとこれらの話はこれからもずっと昔話とし
- て語られていくことだろう。
- ここでふと、一つのぎもんが出てくる。
- 今この時の話や人々は、この後100年後、い
- や、1000年後、いや、10000年後に、
- どのような人々に語られていくのだろう。
- 私は少しそうぞうしてみた。
- 昔むかし、あるところに少年がいた。
- 少年は、小学校とよばれる大きな建物に毎日行
- き、勉強とよばれる苦しいしゅぎようをしてい
- た。
- そんな少年の楽しみは、家に帰り、DSとよば
- れている小さな箱形の画面を見ながらピコピコ
- と指を動かすことであった。
- 箱を見つめ、指をピコピコ動かすだけの少年。
- そんな意味のない活動をくりかえす少年を母親
- は.....
- 何だかおもしろみにかけている気がする。
- 桃太郎が鬼ヶ島に鬼をたいじするといったよう
- なものすごい話が、今の世の中には少ないのか
- もしれない。
- 未来の昔話をみなも残していこう。

問い 1 筆者は今の時代の話が未来になると（ ）話
になると言っている。

問い 2 今のくらしなどを昔話にすると、（ ）
にかけていると筆者は考える。